

株式会社アクシス 2022年12月期第3四半期 決算補足説明資料

2022年 11月10日



証券コード：4012 / 東証スタンダード

2022年9月2日付けで、当社株式の上場市場区分が東証グロース市場から東証スタンダード市場へ変更されました。これもひとえに、株主の皆様をはじめ、多くの関係者の皆様からのご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

これからも「デジタルで社会に貢献する」をミッションに掲げ、事業の拡大に努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

- I 2022年12月期第3四半期 連結決算実績**
- II 2022年12月期 通期業績見通し**

① 2022年12月期第3四半期 連結決算実績



売上高

4,325百万円
(前年同期比+24.4%)

営業利益

442百万円
(前年同期比+21.5%)

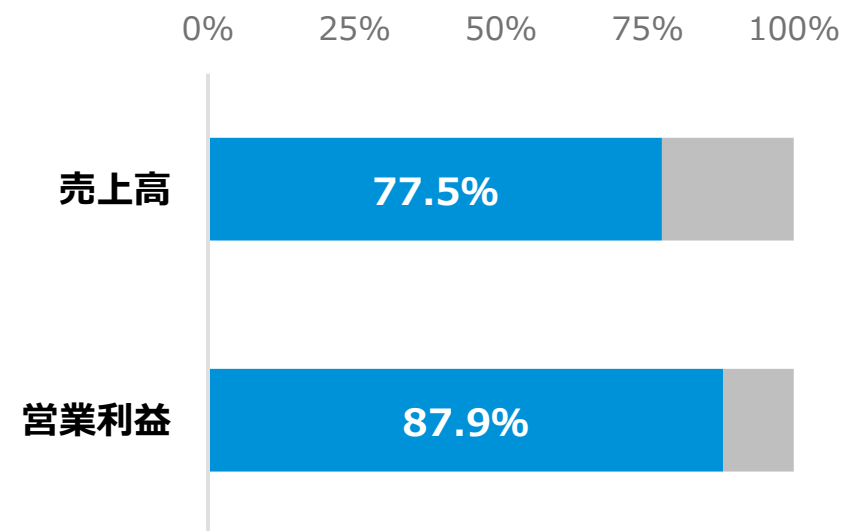
営業利益率

10.2%
(前年同期比-0.3p)

■ポイント

- ✓ 売上高は前年同期比+24.4%、営業利益も同+21.5%
- ✓ DXを含む企業のITシステム投資が好調
- ✓ 営業利益率は前年同期比で-0.3pも10%超を維持
- ✓ 通期業績予想に対する進捗は順調
- ✓ 新型コロナウイルス、ウクライナ情勢、円安、資源高及び物価高の業績への影響は、現時点では出ていない

通期業績予想に対する進捗率



DXを含む企業のITシステム投資は堅調のため前年同期比で大幅な増収増益を達成

通期業績予想に対する進捗率も順調

売上総利益率の前年同期比減少の要因は増収に伴う外注費増

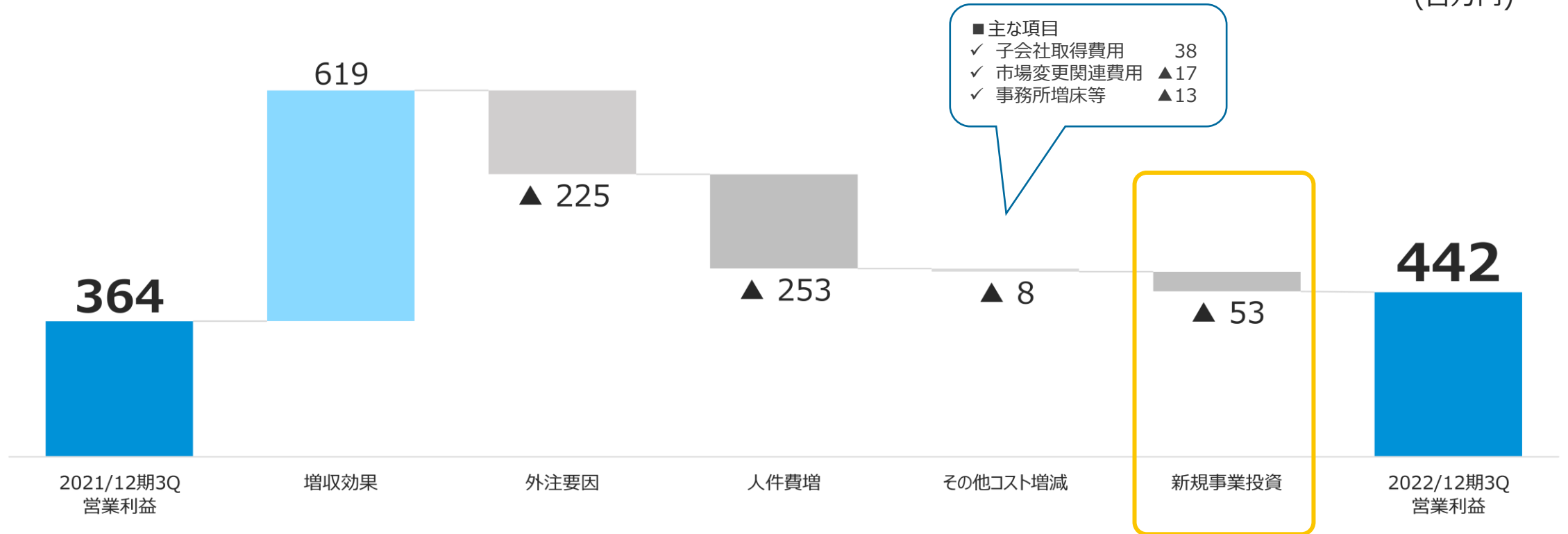
(百万円)

	2021/12期 3Q	2022/12期 3Q	前年同期比		通期業績予想 に対する進捗率
			増減額	増減率	
売上高	3,478	4,325	+847	24.4%	77.5%
売上総利益	953	1,113	+160	16.8%	73.3%
営業利益	364	442	+78	21.5%	87.9%
経常利益	380	452	+71	18.8%	87.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	230	287	+57	24.9%	82.8%
売上総利益率	27.4%	25.7%		-1.7p	
営業利益率	10.5%	10.2%		-0.3p	
経常利益率	10.9%	10.5%		-0.4p	

大幅な売上増加により、増強したエンジニアの person 費や新規事業への投資などの減益要因を吸収し、増益を達成

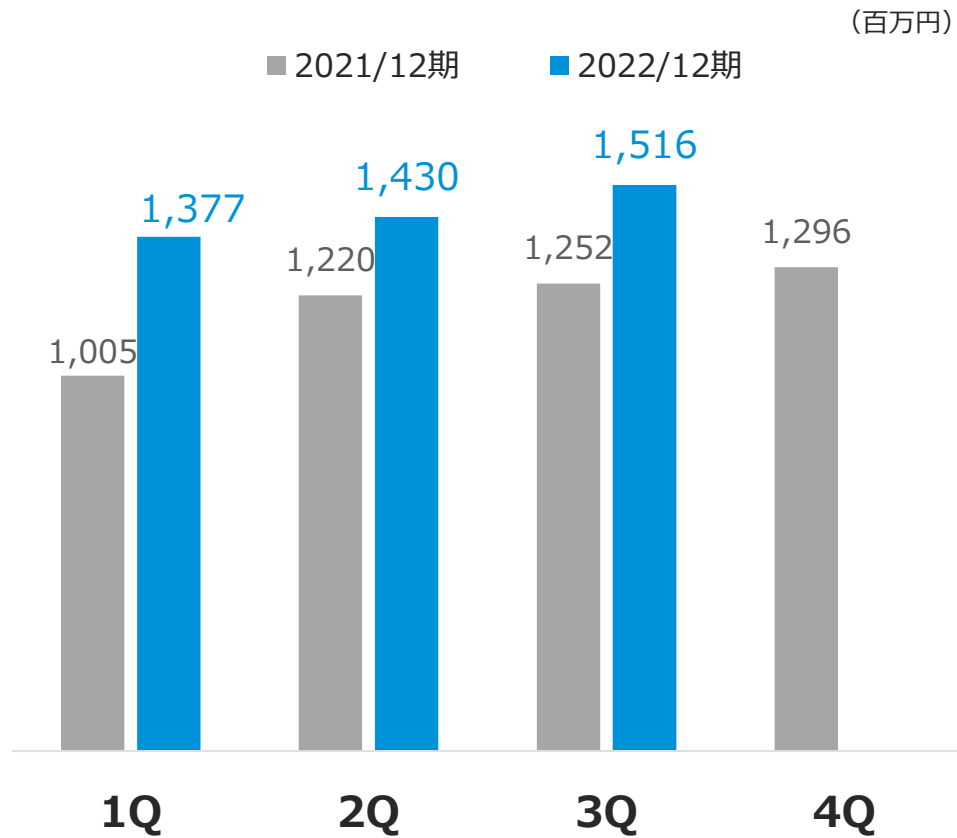
営業利益 増減益要因 (▲はマイナス影響)

(百万円)

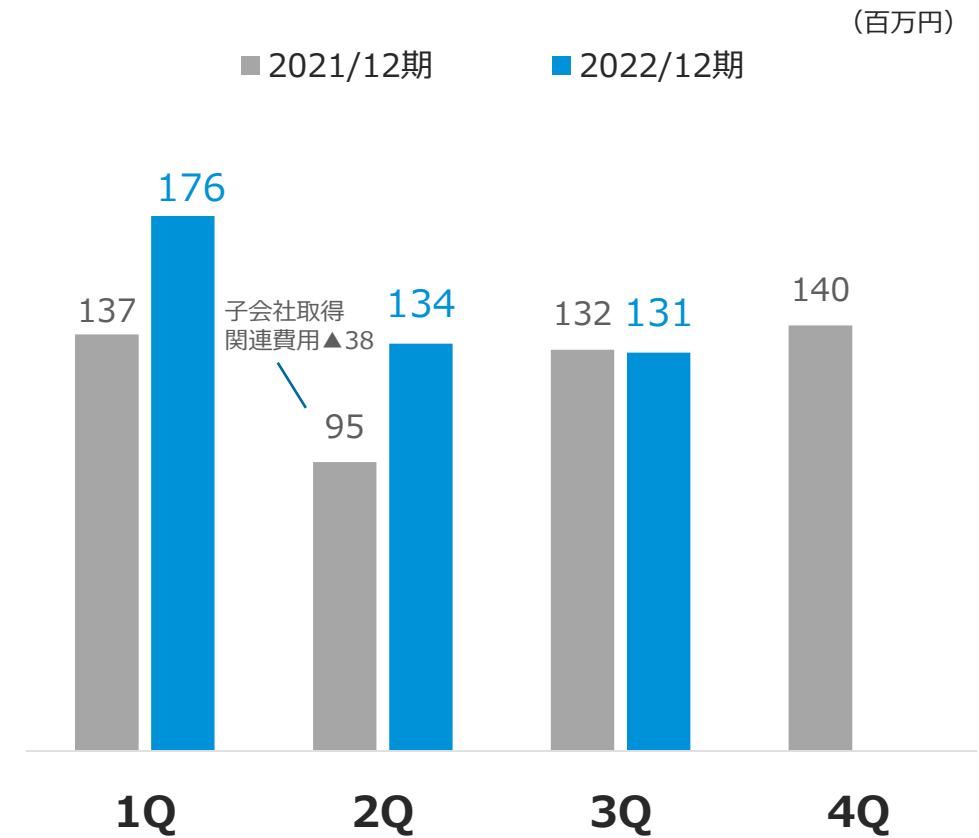


四半期業績は好調に推移し、四半期会計期間で過去最高の売上高を更新

売上高



営業利益



旺盛なDXを含む企業のIT投資を背景にシステムインテグレーション事業は好調に推移し、受注残も増加

ITサービス事業については、リアルタイム運行管理システム「KITARO」（「KITARO」サービス）が堅調に推移

(百万円)

		2021/12期 3Q	2022/12期 3Q	前年同期比	
				増減額	増減率
システムインテグレーション事業(SI)		3,284	4,112	+827	25.2%
ITサービス事業(IT)		193	213	+19	10.0%
合計(売上高)		3,478	4,325	+847	24.4%
主要KPI					
SI	受注残高(百万円)	1,080	1,292	+211	19.5%
IT	「KITARO」契約台数(台)	7,975	8,208	+233	2.9%

※当第3四半期連結累計期間よりクラウドサービス、セキュリティサービス、デジタルコンサルティングサービスをITサービス事業に集約しております。
 なお、前年同四半期においては、セキュリティサービス、デジタルコンサルティングサービスはサービス開始しておりません。

システムインテグレーション事業は連結子会社も含めて好調に推移

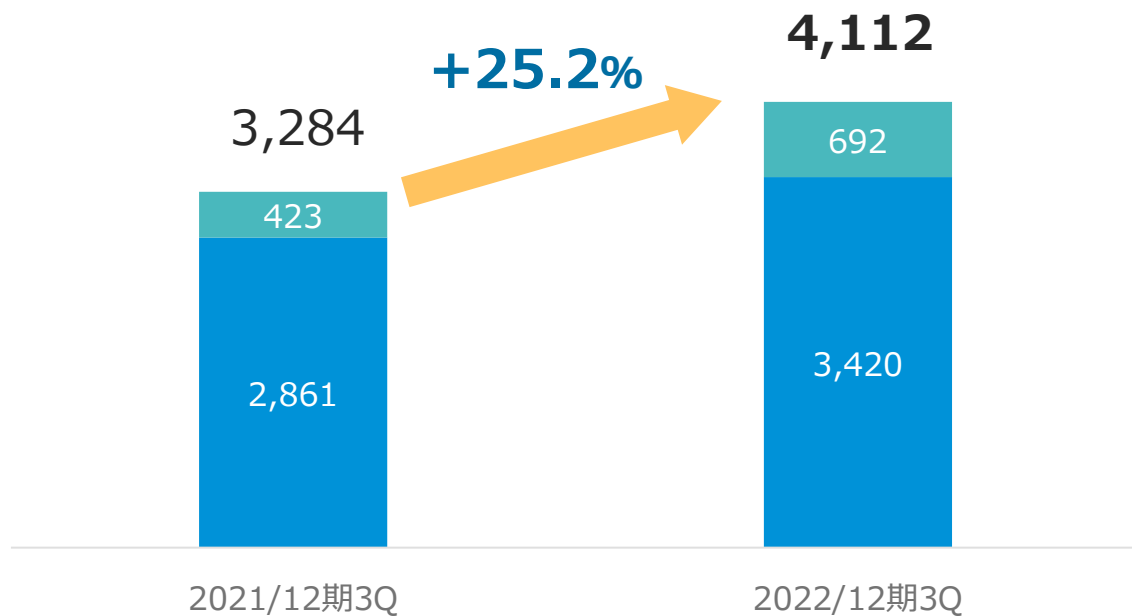
新規金融顧客との直接取引開始、金融大型案件の受注により売上増

受注残は、前四半期比、前年同期比ともに堅調に増加

SI事業 売上高

(百万円)

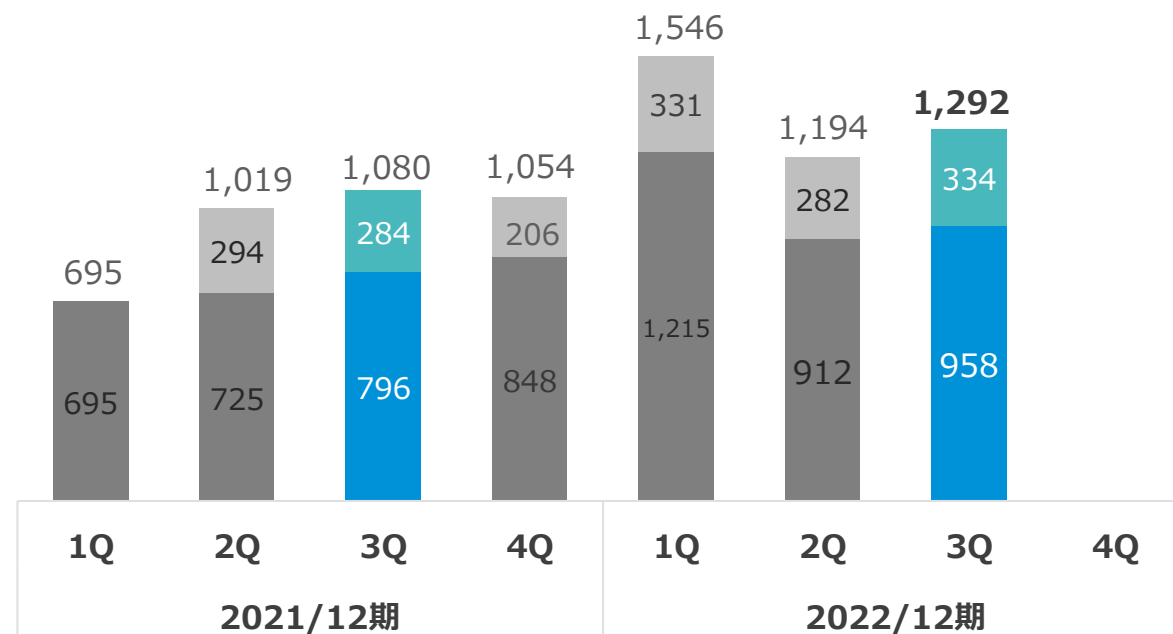
■ アクシス ■ 連結子会社



受注残高の四半期別推移

(百万円)

■ アクシス ■ 連結子会社



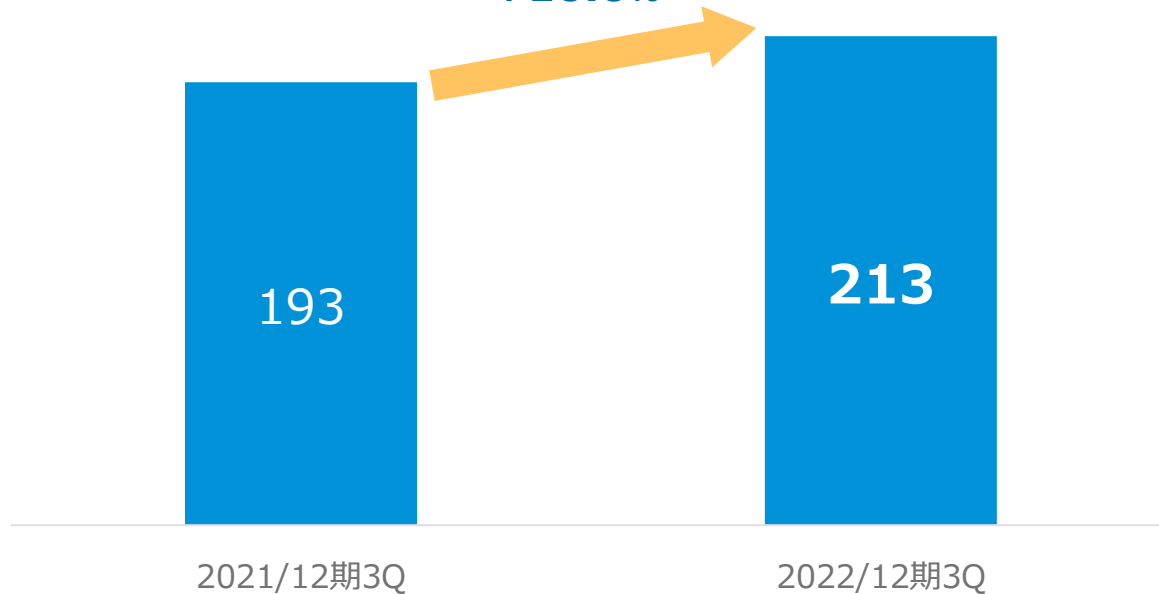
ITサービス事業は、「KITARO」サービスの契約台数増加に伴い堅調に推移

前四半期比の契約台数は微減となったが、「KITARO×ドラレコ」の契約は増加傾向であり、一時的な減少と判断
セキュリティサービス、デジタルコンサルティングサービスは、提供サービスのリリースや業務提携等は予定通り行えた一方、本格的な営業開始や人材育成が遅延

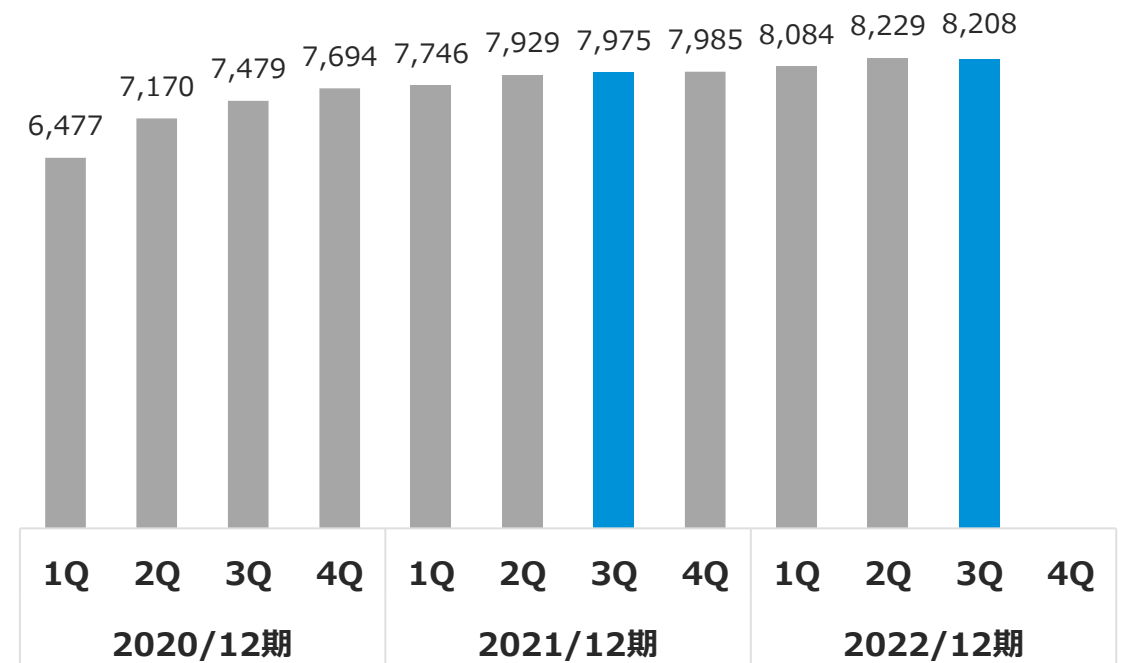
ITサービス事業 売上高

(百万円)

+10.0%



「KITARO」サービス 契約台数の推移



利益増に伴い純資産は堅調に増加

現預金が増加、自己資本比率は0.3p増の70.0%とより健全な状態に

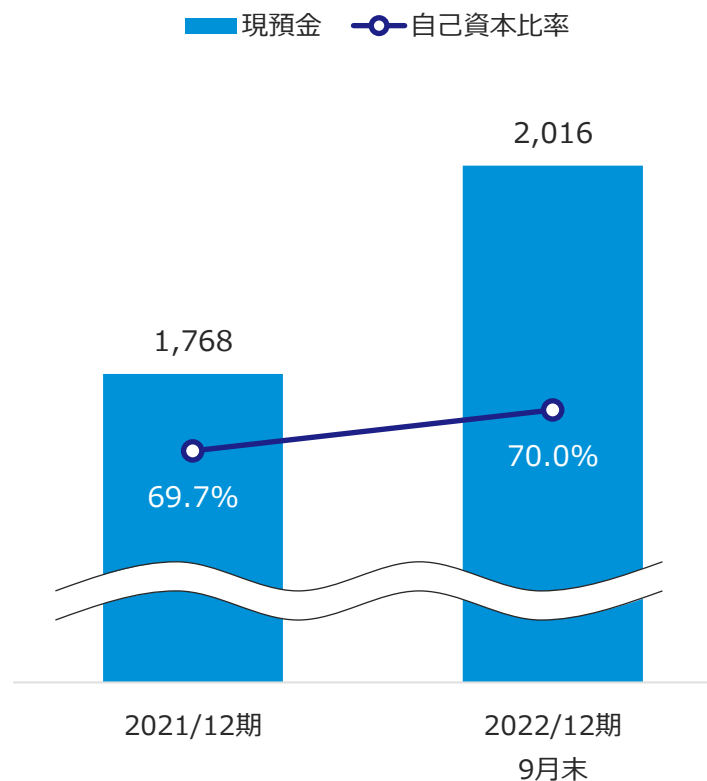
主なB/Sの状況

(百万円)

	2021/12期	2022/12期 9月末	前期比増減
流動資産	2,567	2,874	+307
現預金	1,768	2,016	+248
売掛金	707	790	+82
棚卸資産	35	16	▲18
固定資産	529	590	+60
のれん	276	253	▲22
総資産	3,097	3,465	+367
負債	939	1,037	+98
買掛金	151	203	+52
有利子負債	116	79	▲37
退職給付に係る負債	214	236	+21
純資産	2,158	2,427	+269
負債純資産合計	3,097	3,465	+367
自己資本比率	69.7%	70.0%	+0.3p

主な財務数値の状況

(百万円)



サイバー保険自動付帯型 次世代エンドポイントセキュリティ「Deep Instinct」販売開始

三井住友海上火災保険株式会社（本社：東京都千代田区、取締役社長：舩曳 真一郎）との提携により、最大1,000万円まで補償する「Jyro Security サイバー保険自動付帯型 Deep Instinct」の販売を2022年10月より開始いたしました。

<https://jyro-security.com/service/deep-instinct/>



Jyro Securityは、システム開発に強みを持つアクシスが開始したサイバーセキュリティの診断・運用・保守・デジタルフォレンジックまでを一気通貫で提供するトータルセキュリティ・サービスブランドです。中堅・中小企業のサイバーセキュリティのあり方に向き合い、日本のセキュリティ地盤の底上げを目指すことを目的に2022年に立ち上げました。

今後も、中堅・中小企業に向けたサイバーセキュリティの最適解を追究し、導入しやすい価格で提供してまいります。

小型モビリティを活用した移動サービス『ときモビ』の実証実験に「KITARO」サービスで協力

トヨタ・コニック・プロ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：長田 准）が山口県宇部市「ときわ公園」にて行う、小型モビリティを活用した移動サービス『ときモビ』の実証実験に、位置情報取得機能の提供で協力いたしました。

ときモビ@ときわ公園 <https://coubic.com/tokimobi-tqp>

今回の実証実験において利用している端末は、バッテリー内蔵で消費電力の少ない通信方式のため一度充電すれば最大で半年持続可能な端末です。今後は、今回の実証実験で得られる知見を活かし、自転車やバイク、そしてBEVといった、これまで「KITARO」サービスでは対応が難しかった領域にも対応範囲を広げ、お客様のあらゆるニーズに対応していく予定です。



連結子会社の吸収合併

当社は、2021年4月の株式会社ヒューマンソフト（以下、H S社）の完全子会社化以降、H S社と共にシステムインテグレーション事業の成長と拡大を図り、企業価値の向上に努めてまいりました。今後の更なる業容拡大に向けて、2023年1月1日を効力発生日として、当社の完全子会社であるH S社を吸収合併することいたしました。

本合併は、当社の完全子会社との吸収合併であるため、連結業績への影響は軽微であります。また、本合併により連結対象の子会社がなくなる予定であるため、当社グループは、2023年12月期第1四半期より非連結決算に移行する予定です。

健康優良企業「銀の認定」取得

2021年12月に健康保険組合連合会東京連合会へ「健康企業宣言」を行い、健康経営への取り組みが評価され、2022年8月9日付で健康優良企業「銀の認定」を取得いたしました。



「銀の認定」とは、企業全体で健康づくりに取り組むことを宣言し、定期健康診断受診率100%、健診結果活用、健康づくり環境の整備、食、運動、禁煙、心の健康の項目について、職場の健康づくりと環境整備に取り組み、一定の成果を上げた企業を健康優良企業として認定する制度です

当社は今後も健康優良企業として、社員全員が心身ともに健康で生き生きと働くことができる環境づくりに取り組み、健康経営を推進してまいります。

スポーツひのまるキッズの活動に賛同し、2014年から協賛

以下の2つの大会に、アクシス賞として大会を支えるボランティアスタッフの皆様にご褒状を贈呈いたしました。

- 「第5回月刊バスケットボールカップU-15」（主催：一般社団法人スポーツひのまるキッズ協会、日本文化出版株式会社、8月20日（土）～22日（月）開催）
- 「第13回スポーツひのまるキッズ東海小学生柔道大会」（主催：一般社団法人愛知県柔道連盟、一般社団法人スポーツひのまるキッズ協会、9月11日（日）開催）



当社は、親子の絆を深めるスポーツひのまるキッズの活動に賛同し、2014年から協賛しています。これからも当社は、子どもたちが明るく過ごせる社会のために活動をしていきます。

青少年福祉センター第16回チャリティ大バザーに協力

10月2日（日）に開催された「第16回チャリティ大バザー」（主催：青少年福祉センター後援会）において、当社社員がボランティアで運営スタッフとして参加いたしました。

バザーの売上金は児童養護施設、自立援助ホームの運営資金となります。

当社は、少しでも多くの子どもたちの自立への手助けをし、子どもたちを明るい未来に繋ぐために、今後も社会福祉法人 青少年福祉センターを支援いたします。



社会福祉法人 青少年福祉センター <http://wfc.or.jp/>

Ⅱ 2022年12月期 通期業績見通し



◆ 今後の新型コロナウイルスの影響に対する見通しについて

2022年12月期 通期業績見通しは、新型コロナウイルスの影響軽微と想定

SI及びDXへの需要の積み上がりにより収益拡大を予測

- ✓ 1Q（2022年1月～3月）は、感染者数増加により、まん延防止等重点措置発令も業績は堅調
- ✓ 2Q（2022年4月～6月）、3Q（2022年7月～9月）も、新型コロナウイルスの影響なく、業績は堅調に推移
- ✓ 4Qについても、感染者が増加傾向であり第8波の懸念はあるものの、継続して需要は堅調と見込む

2022年12月期の通期業績見通し

旺盛な需要に伴い、売上高は2021年12月期に続き大幅な増収を見込む
 高収益案件への集中により、売上総利益についても額・率ともに前期を上回り、過去最高水準を維持する見込み
 新規事業開始に伴う先行投資のため、営業利益以下の利益は前期より微減

	2021/12期	2022/12期 通期業績見通し	前期比 (百万円)	
			増減額	増減率
売上高	4,774	5,580	+806	16.9%
システムインテグレーション事業(SI)	4,513	5,209	+696	15.4%
I Tサービス事業(IT)	260	370	+110	42.3%
売上総利益	1,293	1,519	+226	17.5%
営業利益	505	504	-1	-0.1%
経常利益	528	515	-13	-2.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	349	348	-1	-0.3%
売上総利益率	27.1%	27.2%		+0.1p
営業利益率	10.6%	9.0%		-1.6p
経常利益率	11.1%	9.2%		-1.9p
<業績見通し前提>				
SI:プロジェクト件数 (件)	252	249	-3	-1.2%
SI:プロジェクト平均単価 (千円)	17,911	20,922	+3,011	16.8%
IT:「KITARO」契約台数 (台)	7,985	9,230	+1,245	15.6%

※当第3四半期連結累計期間よりクラウドサービス、セキュリティサービス、デジタルコンサルティングサービスをI Tサービス事業に集約したため、計画についても合わせて集約しております。
 なお、前期においては、セキュリティサービス、デジタルコンサルティングサービスはサービス開始していません。

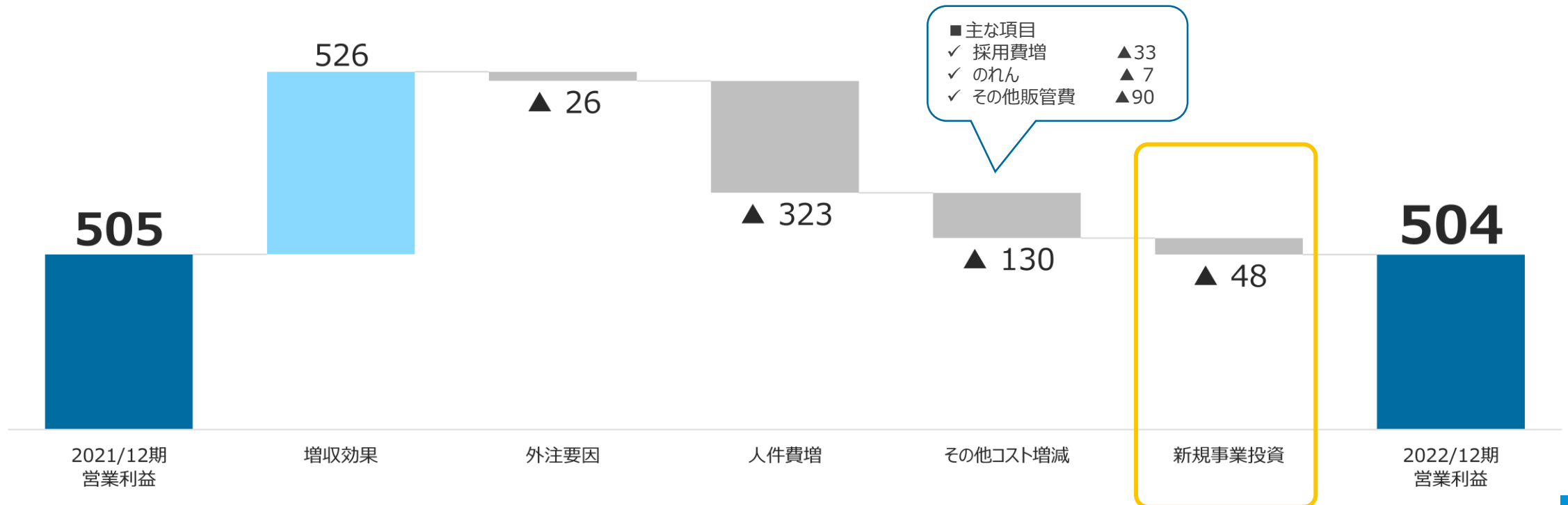
堅調な増収効果により、売上総利益では大幅な増加を見込む

新規事業への投資（DX・セキュリティ人材採用強化、広告宣伝等）により、営業利益は僅かに減益

連結子会社については今期より12ヶ月間のフル寄与となり、グループの収益に貢献

営業利益 増減益要因（▲はマイナス影響）

(百万円)



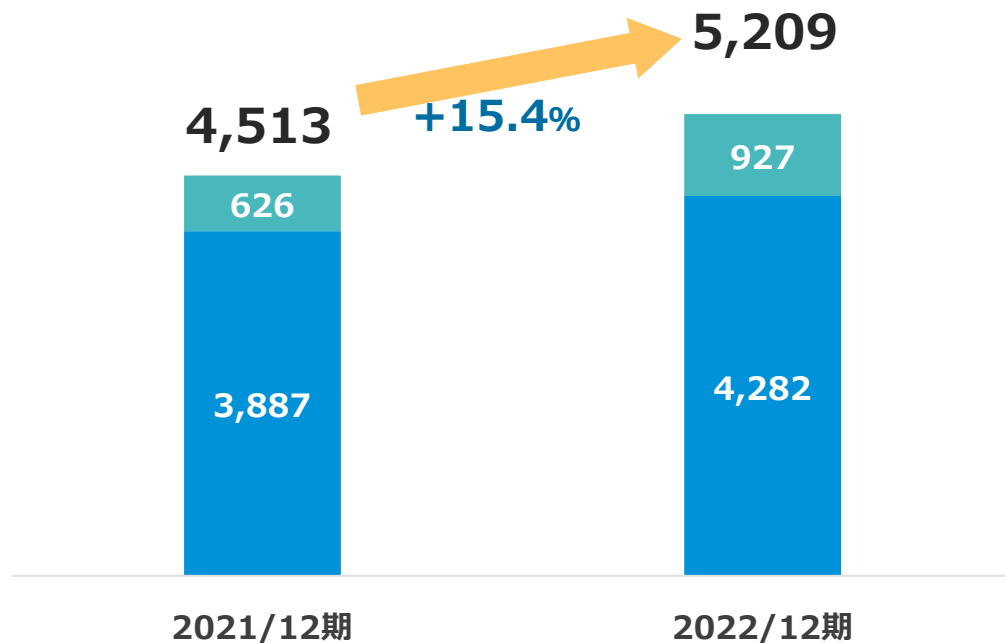
企業のIT投資は総じて好調を維持、連結子会社ともに好調な推移を見込む

クラウド化導入支援などの成長領域の案件や金融分野の案件など、高収益案件の増加を見込む

SI事業 売上高

(百万円)

■ アクシス ■ 連結子会社



売上高：5,209百万円

前期比：+15.4%

■ セグメント概況

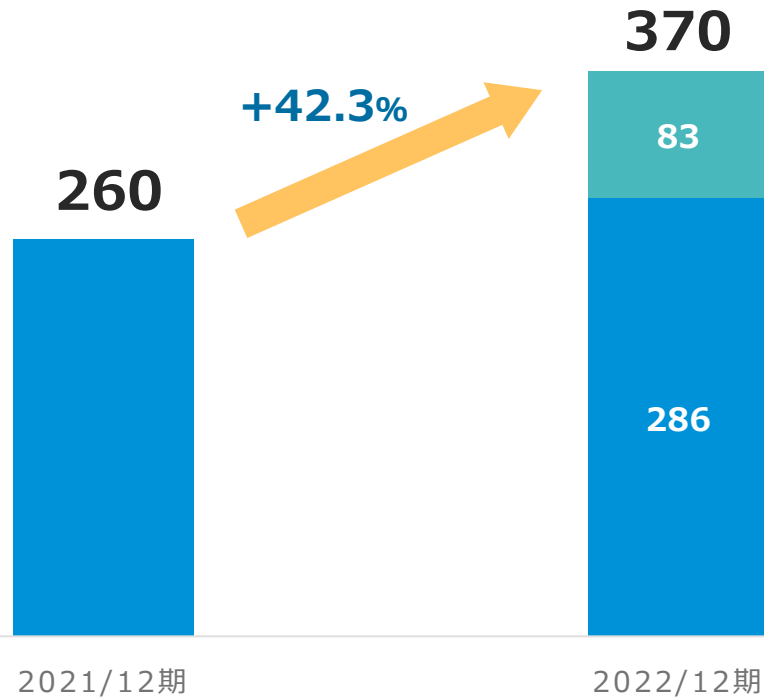
- クラウド開発案件など、DX/ITニーズは堅調
- アクシスは+10.2%の増収、連結子会社は今期より12か月間の計上となるため+48.1%の増収と、グループを総じて好調の見通し
- AWSを活用したクラウド化案件等、成長領域の専門知識を強化し、高収益案件へのシフトを図る
- 社員の育成・採用も強化し、早期戦力化（稼働率向上）へ

「KITARO」サービスは、コロナにより手控えられていた需要の寄り戻しがあるとの前提から、堅調な推移を想定
広告チャネルの拡大など積極的な広告宣伝を展開する他、機能追加による付加価値向上により契約単価向上を見込む

ITサービス事業 売上高

(百万円)

■クラウドサービス ■新規事業



売上高：370百万円

前期比：+42.3%

■セグメント概況

- 新型コロナウイルスによる影響は軽微の前提とし、需要は回復基調へ転ずると想定
- 広告宣伝を積極的に展開、新規契約台数は+1,245台、期末契約台数は9,230台を見込む
- 契約プランの多様化や、アルコールチェック機能の提供などの付加価値の向上などにより、2ケタ台の売上高増加率を見込む
- 新規事業（デジタルコンサルティングサービス、セキュリティサービス）を当期より提供も、サービス提供体制の整備、広告宣伝等が先行。2024年12月期単年黒字予定

株主還元：前期の記念配当を普通配として継続＋記念配当実施

前期の創立30周年記念配当額を普通配として継続し5.0円の年間配当に、東証スタンダード市場への市場区分変更の記念配当として5.0円を加え、合計10.0円の年間配当を実施予定

成長への投資が必要となるものの、今後も株主還元は重視し、安定した配当を実施する方針

年度	年間1株当たり配当金		
	中間	期末	合計
2021年12月期	0.00円	5.00円（記念配）	5.00円
2022年12月期（予）	0.00円	5.00円（普通配） 5.00円（記念配）	10.00円

< 見通しに関する注意事項 >

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

当資料に記載されている数値については、端数の切り捨て処理を行っており、合算値が一致しない箇所がございます。

<問い合わせ先>

経営企画室 IR担当

03-6205-8540

ir@axis-net.co.jp